

2020年6月5日

報道関係各位

株式会社OKB総研

## 「OKB景況指数」2020年6月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2020年6月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

### 調査結果要旨

<b>景況の水準</b>	新型コロナ感染拡大、緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞から景況感は急速に悪化。調査開始直後の2009年3月期(リーマン・ショック直後)の水準に落ち込んだ。製造業を中心に落ち込んだリーマン・ショック時と異なり、個人消費が過去最低値、資金需要が過去最高値となるなど、休業となった小売・サービス業の影響が顕著に。
<b>景況の方向</b>	緊急事態宣言解除により、落ち込んだ消費の持ち直しに期待がかかる一方、企業活動への影響は今後顕在化していくと見る声も多く、厳しい状況が続く見通し。
<b>新型コロナの影響</b>	新型コロナの感染拡大は、足元の地域経済に深刻な影響を与えた。また、こうした地域経済への影響は翌年以降も続くとする声が多く、経済活動の正常化には時間がかかる見通し。

### OKB景況指数とは・・・

#### OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

#### 県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL:052-564-1520 FAX:0584-47-7882】

# OKB景況指数（2020年6月期調査報告）

## 調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある113支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2020年5月中旬に調査票を配付し、5月末までに回収

## 調査結果

**景気的水準：** 新型コロナの感染拡大、緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞から、景況感は急速に悪化。リーマン・ショック後（2009年3月期）の水準まで落ち込んだ。

**景気方向：** 緊急事態宣言解除後も経済活動の正常化には時間がかかると、厳しい状況が続く見通し。

	景気的水準(2020年6月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気全般は▲84.2（前回は▲64.6）と急速に低下。リーマン・ショック後（2009年3月期）の水準まで落ち込んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・▲62.6と「悪化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>飲食業、サービス業、製造業など幅広い業種で新型コロナの影響が広がっている。3月までは様子見の状態であったが、4月の緊急事態宣言の発令を受けて深刻な状態に陥った。緊急事態宣言解除後もV字回復は難しい。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県▲83.8（前回は▲62.0）、岐阜県▲84.6（前回は▲66.5）と、ともに急激に悪化。11年ぶりの低水準となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は▲56.8と「悪化」超</li> <li>・岐阜県は▲69.1と「悪化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県では、新型コロナ、緊急事態宣言の影響から、個人消費が大きく落ち込んでいる。飲食業・観光業などを中心に小売業・サービス業は極めて厳しい状況。製造業では、自動車関連を中心に生産調整により受注が減少、先行き不透明感が強い。</p> <p>・岐阜県では、新型コロナの影響は、当初、飲食業・観光業中心であったが、足元では、消費活動、生産活動縮小に伴い、全業種に影響が出ている。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての地域で景況感が急激に悪化。リーマン・ショック後の水準まで落ち込んだ。</li> <li>・先行きは、個人消費については地域間でばらつきがみられるものの、総じて厳しい状況が続く見通し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良化」超 該当なし</li> <li>・「悪化」超 全地域</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>【西三河地域】</b> 主要産業である自動車関連は、生産調整の影響で今後減産となる見込み。数ヵ月後に影響が出てくるものと思われる。</p> <p><b>【岐阜地域】</b> 緊急事態宣言解除を受け、落ち込む個人消費への改善が期待されるものの、第二波への警戒感から一定程度にとどまる見通し。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」は前回は▲50ポイント前後と急速に低下、「個人消費」は調査開始（2008年12月）以来の低水準となった。一方、「資金需要」は+73.3（前回は+95.5）と調査開始以来の高水準となった。</li> <li>・「雇用」は▲29.9（前回は▲87.8）と「過剰」超に転じた。生産調整や店舗休業を受け、人員に余剰感が出ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「増加」超 「資金需要」</li> <li>・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」</li> <li>・「過剰」超 「雇用」</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：今後の景気動向や緊急事態宣言を受け、消費行動は慎重になっている。解除後も当面は厳しい状況が続く見通し。</p> <p>「生産活動」：特に自動車関連を中心とした製造業では、生産調整の影響を受け受注が減少している。</p> <p>「設備投資」：業況悪化、受注減を想定している状況下で、設備投資に積極的になれない企業が多い。運転資金の確保が最優先。</p> <p>「企業収益」：新型コロナの感染拡大に伴うインバウンド需要の消失や国内の外出自粛をうけて大幅な悪化。低調な生産活動を受け、減収・減益は避けられないとの見方が多い。</p> <p>「雇 用」：人員削減までは至らないが、受注減少し人員に余剰が出てきている企業もある。雇用維持を図るため、雇用調整助成金の活用を検討する企業が増えている。</p>	

\*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

### ■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。  
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイント进行付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

### 地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2020年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲80.6(▲62.9) ↓	▲80.6(▲54.1) ↓	▲66.7(▲43.1) ↓	▲69.4(▲48.9) ↓	▲63.9(▲55.1) ↓	83.3(+109.8) ↑	▲27.8(▲80.7) ↓
東尾張	▲87.0(▲65.0) ↓	▲75.9(▲47.9) ↓	▲75.9(▲55.9) ↓	▲79.6(▲69.6) ↓	▲90.7(▲74.7) ↓	75.9(+85.9) ↑	▲37.0(▲105.0) ↓
西尾張	▲88.9(▲58.3) ↓	▲79.4(▲51.6) ↓	▲81.3(▲50.7) ↓	▲65.6(▲40.6) ↓	▲68.8(▲38.2) ↓	56.3(+89.6) ↑	▲28.1(▲80.9) ↓
西三河	▲62.5(▲50.0) ↓	▲75.0(▲50.0) ↓	▲62.5(▲37.5) ↓	▲62.5(▲62.5) ↓	▲75.0(▲87.5) ↓	75.0(+75.0) ↑	▲50.0(▲125.0) ↓
東三河	▲100.0(▲83.3) ↓	▲100.0(▲50.0) ↓	▲50.0(▲50.0) ↓	▲66.7(▲33.3) ↓	▲100.0(▲100.0) ↓	83.3(+116.7) ↑	▲16.7(▲83.3) ↓
岐阜	▲86.0(▲64.0) ↓	▲73.3(▲53.5) ↓	▲74.4(▲54.7) ↓	▲64.0(▲40.7) ↓	▲76.7(▲66.3) ↓	69.8(+102.3) ↑	▲34.9(▲88.4) ↓
西濃	▲83.3(▲74.1) ↓	▲72.2(▲57.4) ↓	▲72.2(▲66.7) ↓	▲55.6(▲40.7) ↓	▲68.5(▲48.1) ↓	88.9(+114.8) ↑	▲24.1(▲81.5) ↓
東濃・可茂	▲83.3(▲55.6) ↓	▲55.6(▲38.9) ↓	▲72.2(▲44.4) ↓	▲61.1(▲44.4) ↓	▲55.6(▲22.2) ↓	66.7(+72.2) ↑	▲16.7(▲77.8) ↓
飛騨・郡上	▲83.3(▲83.3) ↓	▲100.0(▲50.0) ↓	▲83.3(▲33.3) ↓	▲66.7(▲33.3) ↓	▲50.0(▲50.0) ↓	66.7(+83.3) ↑	▲50.0(▲133.3) ↓
桑名・四日市	▲83.3(▲66.7) ↓	▲50.0(▲50.0) ↓	▲83.3(▲33.3) ↓	▲83.3(▲66.7) ↓	▲66.7(▲33.3) ↓	50.0(+66.7) ↑	0.0(▲16.7) ↓
愛知県(5地域)	▲83.8(▲62.0) ↓	▲78.8(▲50.6) ↓	▲72.2(▲49.0) ↓	▲71.5(▲55.3) ↓	▲77.8(▲63.7) ↓	73.6(+93.3) ↑	▲33.3(▲94.6) ↓
岐阜県(4地域)	▲84.6(▲66.5) ↓	▲71.3(▲51.6) ↓	▲73.9(▲54.8) ↓	▲61.2(▲41.0) ↓	▲68.6(▲51.6) ↓	74.5(+98.9) ↑	▲29.3(▲87.2) ↓
三重(1地域)	▲83.3(▲66.7) ↓	▲50.0(▲50.0) ↓	▲83.3(▲33.3) ↓	▲83.3(▲66.7) ↓	▲66.7(▲33.3) ↓	50.0(+66.7) ↑	0.0(▲16.7) ↓
全地域	▲84.2(▲64.6) ↓	▲73.7(▲51.2) ↓	▲73.5(▲51.6) ↓	▲66.3(▲47.9) ↓	▲72.4(▲56.0) ↓	73.3(+95.5) ↑	▲29.9(▲87.8) ↓

- (※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイント进行付与したうえで算出。  
 例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。  
 各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。  
 (※2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2020年9月期見通し)

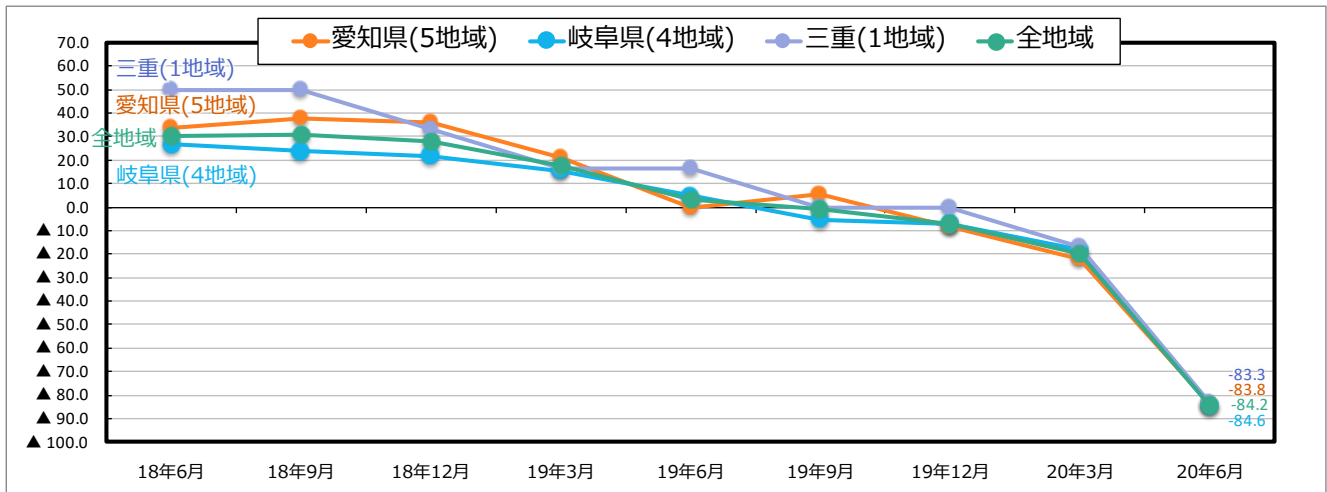
(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲50.0 ↓	▲5.6 ↓	▲27.8 ↓	▲27.8 ↓	▲44.4 ↓	22.2 ↑	▲16.7 ↓
東尾張	▲37.0 ↓	7.4 ↑	▲48.1 ↓	▲33.3 ↓	▲37.0 ↓	14.8 ↑	▲7.4 ↓
西尾張	▲77.8 ↓	▲41.2 ↓	▲62.5 ↓	▲81.3 ↓	▲68.8 ↓	62.5 ↑	▲6.3 ↓
西三河	▲100.0 ↓	25.0 ↑	▲75.0 ↓	0.0 ⇐	▲75.0 ↓	75.0 ↑	▲25.0 ↓
東三河	▲33.3 ↓	66.7 ↑	0.0 ⇐	▲33.3 ↓	0.0 ⇐	▲33.3 ↓	0.0 ⇐
岐阜	▲72.1 ↓	▲9.3 ↓	▲23.3 ↓	▲53.5 ↓	▲46.5 ↓	44.2 ↑	▲25.6 ↓
西濃	▲74.1 ↓	7.4 ↑	▲48.1 ↓	▲48.1 ↓	▲70.4 ↓	33.3 ↑	▲22.2 ↓
東濃・可茂	▲77.8 ↓	▲11.1 ↓	▲33.3 ↓	▲44.4 ↓	▲77.8 ↓	33.3 ↑	0.0 ⇐
飛騨・郡上	0.0 ⇐	33.3 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲33.3 ↓	33.3 ↑	0.0 ⇐
桑名・四日市	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲66.7 ↓	33.3 ↑	▲33.3 ↓
愛知県(5地域)	▲56.8 ↓	▲2.7 ↓	▲47.2 ↓	▲38.9 ↓	▲48.6 ↓	31.9 ↑	▲11.1 ↓
岐阜県(4地域)	▲69.1 ↓	▲2.1 ↓	▲30.9 ↓	▲46.8 ↓	▲58.5 ↓	38.3 ↑	▲18.1 ↓
三重(1地域)	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲66.7 ↓	33.3 ↑	▲33.3 ↓
全地域	▲62.6 ↓	▲3.5 ↓	▲37.8 ↓	▲43.0 ↓	▲54.7 ↓	35.5 ↑	▲15.7 ↓

- (※) 景気全般は、3ヵ月後は景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)  
 他の6項目は、3ヵ月後は今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)  
 「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

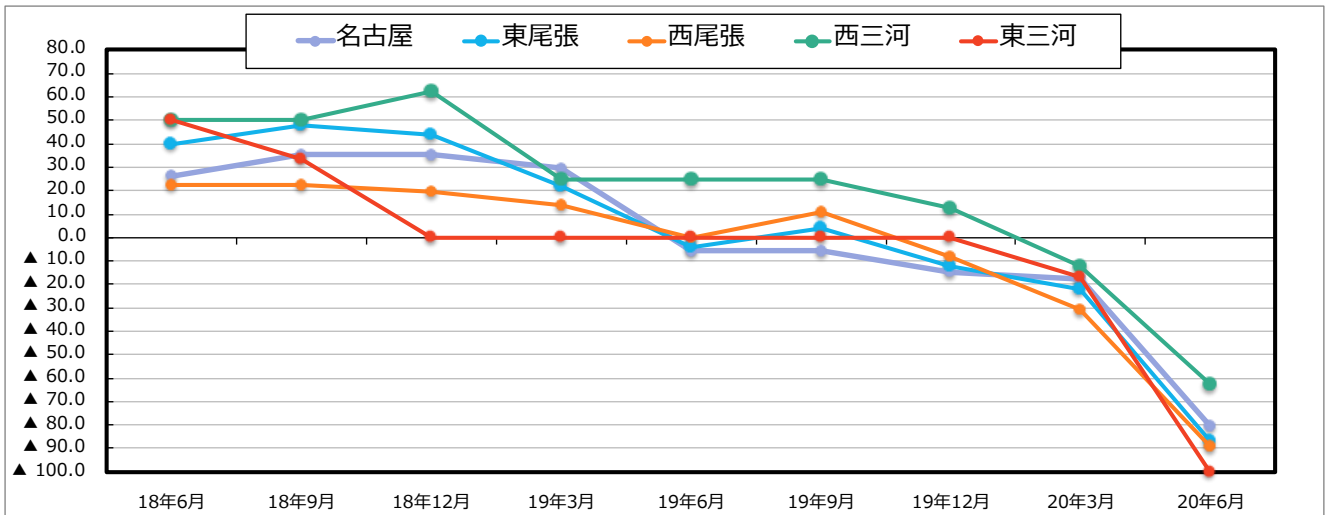
# 「景気の水準」の推移

## ■ 県別

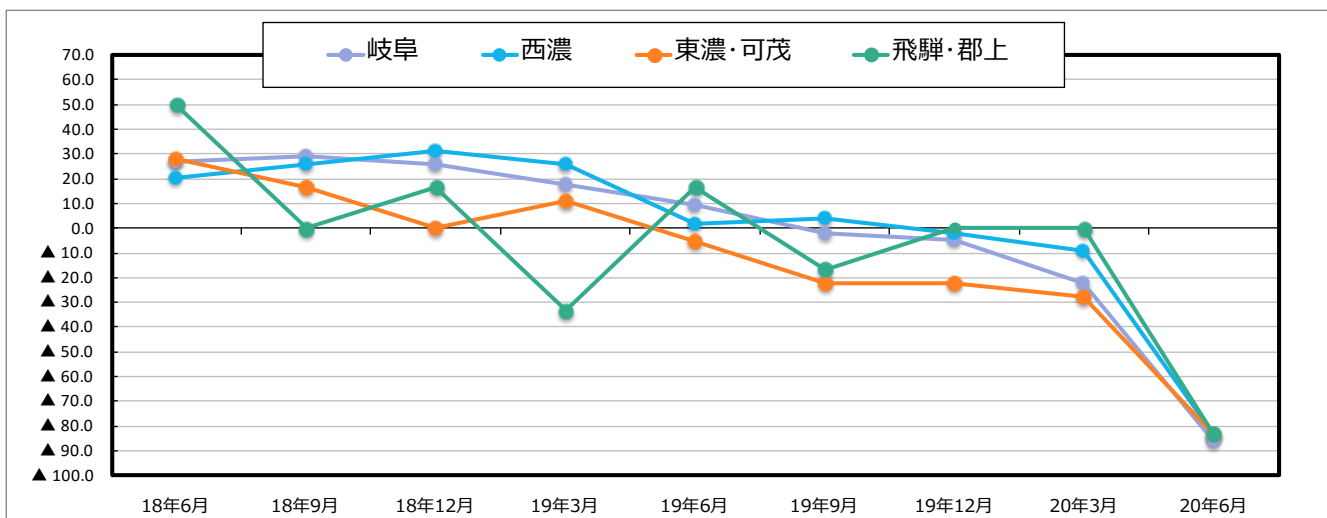


## ■ 地域別

### ① 愛知県内



### ② 岐阜県内



## 追加調査

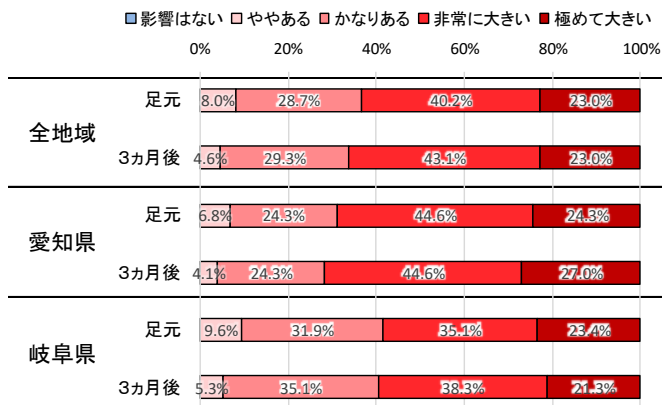
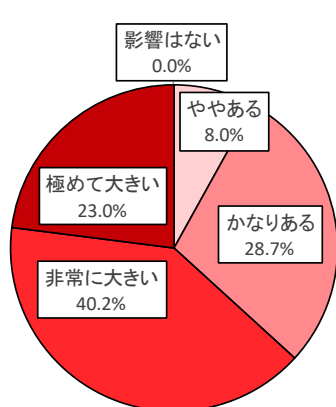
### 「新型コロナによる地域経済への影響」(推移を観測するため次回以降も調査実施します)

#### (1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「極めて大きい」が2割超、「非常に大きい」が4割。

景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が23.0%、「非常に大きい」が40.2%、「かなりある」が28.7%、「ややある」が8.0%、「影響はない」の回答はゼロだった。

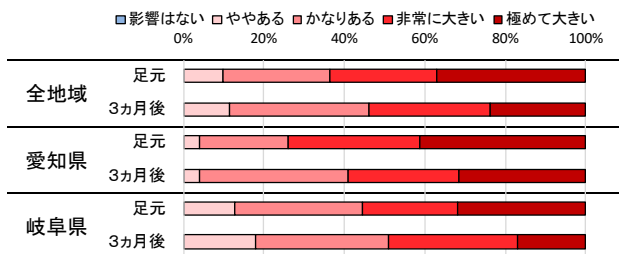
3ヵ月後の見通しについても、景気全般への影響の大きさはいずれも同程度の回答率となっている。新型コロナの影響を受け、足元の景況感は急激に悪化したが、3ヵ月後も新型コロナによる大きな影響は続く見通し。

#### ・景気全般への新型コロナの影響について

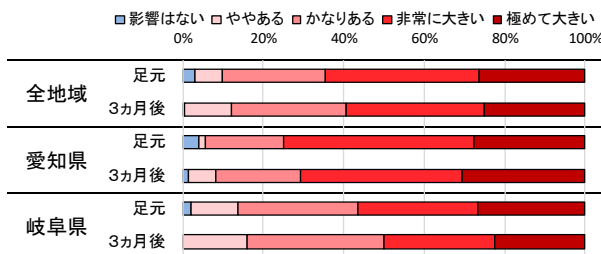


#### ・新型コロナの影響について (項目別)

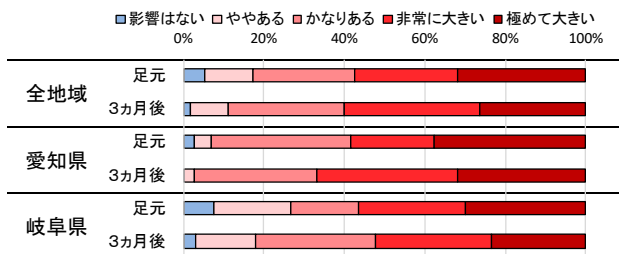
##### ①個人消費



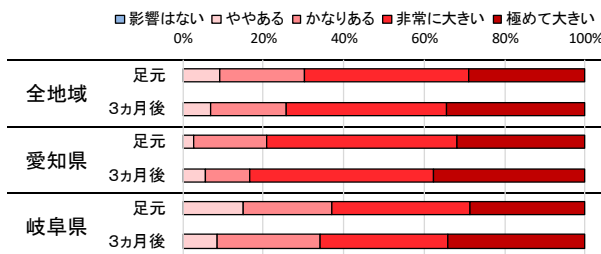
##### ②生産活動



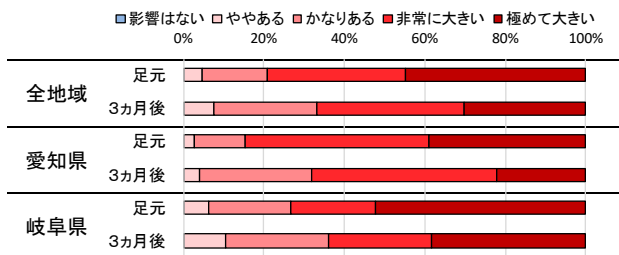
##### ③設備投資



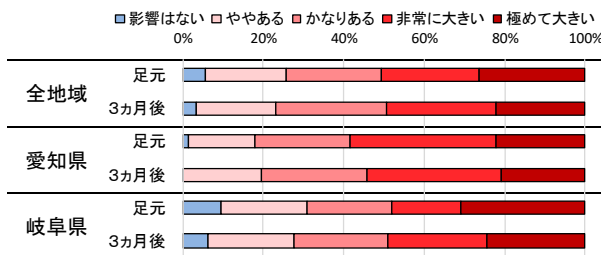
##### ④企業収益



##### ⑤資金需要



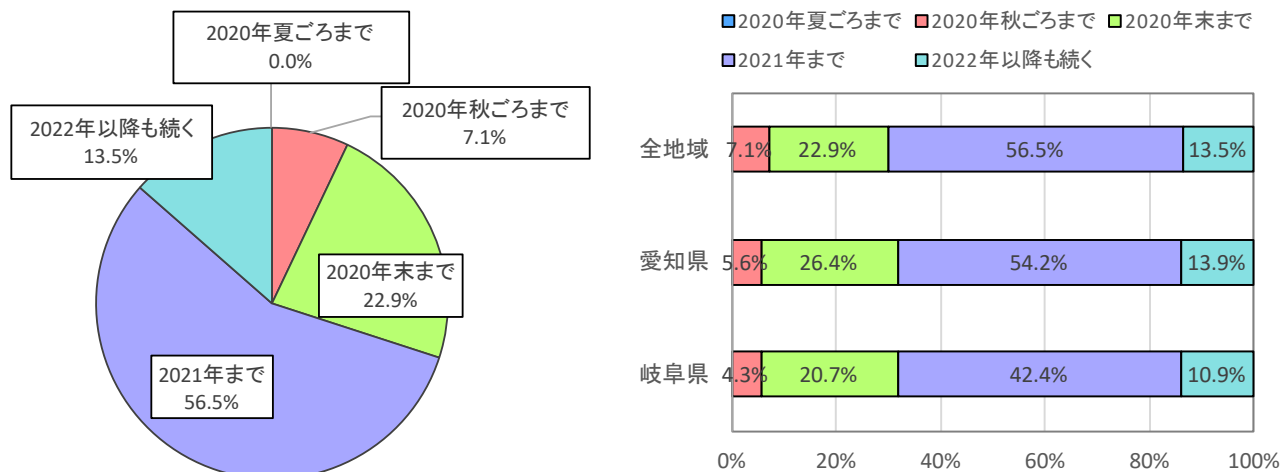
##### ⑥雇用



**(2) 地域経済への新型コロナの影響は、「2021年も続く」と7割が回答。経済活動の正常化には時間がかかる見通し。**

新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くとみているかを尋ねたところ、「2021年まで」が56.5%と最も多く、「2022年以降も続く」も13.5%、一方で、「2020年秋ごろまで」、「2020年末まで」と年内だとする回答は3割にとどまった。多くの支店長は、新型コロナによる地域の経済問題が長期化すると想定している。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くとみているか



以上